

令和元年9月13日(金) No.440

からだを鍛え 心を磨く いつも仲間とともに 夢のある学校



里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 284-1010

1年212名 2年176名 3年179名

<http://www.sato-chu.com/>

「美しく話す」

校長 高田 晶子

9月7日(土)に里中学校第42回体育祭を実施いたしました。暑さ対策のため30分早い開催としましたが、保護者や地域の皆様の大きな声援をいただきながら、生徒たちが充分活躍できたと思います。無事終了することができましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



また、夏季休業中には、里自治会の一斉清掃、辻自治会の文化祭、鳩ヶ谷駅夜まつりなど、地域の行事に多くの生徒たちが参加させていただきました。活動を通じた触れあいに感謝申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。

さて、2学期の里中生は、行事で力を伸ばします。その最初の行事が体育祭でした。7月に体育委員長より体育祭のスローガン『英志颯創(えいしさっそう)』堂々たる志を魅せる』と発表されました。当日に至るまでは夏季休業期間もあり、各自に任された準備期間が長かったのですが、一人一人の志は十分発揮できたと思います。体育委員長 小林君が閉会式で堂々と「僕は、スローガンを達成できたと思います。」「昨年以上の体育祭になったと思います。」と言いました。その姿こそ、競技を終えた「英志颯創」の姿だと思いました。言葉で言うのは簡単ですが、「みんなで作り上げた体育祭」だと実感できたのは私だけではなかったと思います。(生徒の競技中の姿や言葉から涙をこらえていた先生も多くいたと聞いております。)

子どもたちは、これからの行事の取組みの中で、また日々の生活の中で、益々多くの言葉を交わすようになっていくでしょう。同じ言葉でも、言葉づかいひとつで美しくも、乱暴にもなっていきます。自分では、決して乱暴に話しているつもりはなくても、知らず知らずのうちに気を許し、言葉がラフになっていきます。

以前、美しく話をする人は、対象に向き合う「気持ち」を大切にしているという話を讀んだことがあります。「言葉づかいは、マナーではなくて気持ちです」というのです。その人が「どんな気持ちで向き合っているか」の表れだといいます。誰に対しても美しく話ができるのは「マナーよりも相手への気持ち」と思えば、選ぶ言葉も変わってくるのではないかと考えられます。年上の人に、ラーメン屋の店員さんに、まだ小さな子どもに、誰に対しても。

この2学期で里中生が一段と成長していく姿をどうぞ楽しみにしててください。10月の土曜授業公開や11月の合唱コンクール、ロードレース大会など、お立ち寄りの際に生徒の姿をぜひ見ていただきたいと思います。

保護者、地域の皆様、今後の里中生の変身ぶりをどうぞご期待ください。